



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略最前線

戦略から実動へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



▶広報すその
オンラインは
こちら

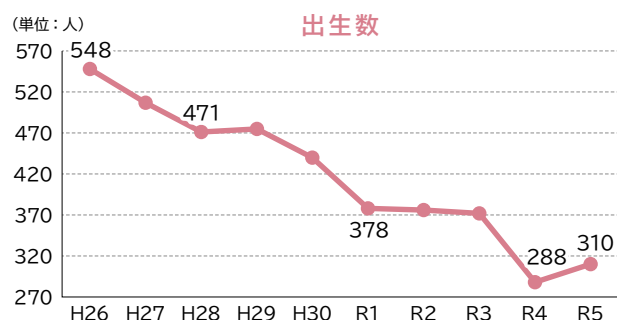


☎幼稚園・保育園課 995-1822

認定こども園化の推進

構想と計画を策定

令和7年3月に、令和7年度から12年間の市の幼児施設の整備方針を定める「裾野市幼児施設整備基本構想改訂版3」・「裾野市教育・保育施設再編計画改訂版」（以下、構想改訂版3・再編計画改訂版）を策定しました。市幼児施設整備基本構想・再編計画は、令和3年度に改訂版を策定しましたが、私立認定こども園の開園、私立幼稚園の子ども・子育て支援新制度への移行などの取り組みが予定どおり進んだ一方、想定以上の少子化などの影響で再編方針の見直しが必要になったため改訂を行いました。



課題解決のために

構想改訂版3では「民間活力の活用推進および公立幼児施設の適正な数への再編と質の向上」を基本方針に掲げています。公立認定こども園は将来的に2園程度を見込んでいて、手厚い職員配置（正規職員率の向上）、新しい施設の整備による園生活の質向上、私立園による多様なサービス提供の推進などの効果を期待しています。

こども園化に向けての交流事業

こども園で一緒になる幼稚園と保育園の園児同士がふれあう機会を増やすため、令和7年度に幼保交流事業を行います。日ごろの園生活の延長線上で幼稚園・保育園の園児が交流することで、安心してこども園へ移行できるように取り組んでいきます。



すくすく
成長中!

裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

▶誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、応募フォームから申し込んでください。



るか
西山 瑠香さん
2歳11カ月
二ツ屋一



えな
勝呂 咲那さん
2歳11カ月
御宿新田



かなた
村上 翔奏さん
2歳11カ月
御宿新田



ひなと
杉山 陽那翔さん
2歳10カ月
町震二



はると
藤井 遥音さん
2歳10カ月
町震一



6月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休 館 日／ 2日(月)・9日(月)・16日(月)・20日(金)～26日(木)・30日(月)



市立鈴木図書館 992-2342 文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



YA ヤングアダルト

ラスト1行でわかる
名作300選

著者：斎藤 美奈子
出版社：中央公論新社

よく知られている名作の書き出し。結末1行を覚えていきますか？ラストにも書き出しと同じくらいの作者の思いが詰まっています。なぜその1行で物語が締めくくられたのかを考える、今までとはひと味違うブックガイドです。



児童書

どれみふぁけろけろ

作・絵：東 君平
出版社：あかね書房

泳ぎの苦手なたつくんが、カエルになりたいなあと思った、アオガエルたけしになっていました。カエルの学校では愉快的先生とかわいらしいカエルたちと一緒に、泳ぎや歌を学びます。不安な気持ちも前向きになれる1冊です。



行事予定

6月20日(金)～26日(木)は、鈴木図書館本館・文化センター図書室共に、蔵書点検のため休館します。

市立鈴木図書館

親子おはなし広場

時 3日(火) 10時30分～11時

おはなしの会

時 7日(土) 11時～11時30分

図書館映画会 (申込不要)

「赤毛のアン」を上映します。

時 6月7日(土)

午前の部 10時～11時30分

午後の部 13時～14時30分

ベビー&キッズタイム

子どもと一緒に気兼ねなく図書館を利用できます。

時 11日(木) 9時～12時

文化センター図書室

おはなしの会

時 14日(土) 11時～11時30分

親子おはなしの会

時 17日(火) 10時30分～10時50分

※詳細は鈴木図書館ウェブサイト。



すそのびと

Susonobito No.71

厚生労働大臣表彰 (国民健康保険関係 功績者)を受賞

高桑 博さん
岩波・73歳



県国民健康保険診療報酬審査委員として20年に渡り尽力された高桑さん。内科医療の高度な専門知識と豊富な経験を基に、厳正かつ公平な審査を担当し保健医療の適正化に努められた功績から、令和6年10月21日(月)に厚生労働大臣表彰を受賞しました。

診療報酬審査委員は、国民健康保険を使って行われた県内全ての請求内容の審査(※)を担当しています。「70人の委員が、毎月1人12,000件ほどの審査を

行っています。審査は大学教授の診療内容から一般の診療所の診療内容までと、幅広いものです。最先端の医療は勉強になる反面、自分も勉強しなければならないプレッシャーがあります。委員としては妊娠糖尿病の食事療法について異議申し立てをし、保険適用になったことが特に記憶に残っていますね」と高桑さんは話しました。

「私は糖尿病が専門ですが、医療が進んでも糖尿病は増えています。患者に負担がかからず、最高の医療を提供していきたい。高齢者が健康で長生きできる社会、100歳を元気に迎えられる社会にしたいですね」。高桑さんは「80歳まで医師を続けていきたい」と力強く話しました。

(※) 診療が正しく行われているかチェックすること

